

《本校の概要》

本校は、明治19年（1886年）、高松市の南、塩江町中徳の地に安下小学校として誕生しました。その後、中徳尋常小学校から安原尋常小学校へ、そして安原小学校と改称され、本年度129年目の歴史を刻んでいます。

本校の周辺は、塩江の山々が広がり、香東川の清流が流れる自然豊かな地であり、建学の「中庸」の精神は、今も本校児童に脈々と受け継がれ、子どもたちは、明るく伸び伸びと学習活動に取り組んでいます。この安原地区には「真竹（まだけ）」が多く生息しており、校章には竹の葉があしらわれて、校歌にも「真竹のような意気みせて～」と歌われていることから、本校児童は愛称として「まだけっ子」と呼ばれています。

明治から長い歴史を誇る本校ですが、児童数の減少等の理由から、来年度は塩江町内の3小学校（安原小・塩江小・上西小）が統合し、新設校として生まれ変わることになります。

なお、平成12年度まで開校していた戸石分校は、現在休校中となっています。

1 校訓 『まだけのように』

2 平成26年度 学校教育目標

『よく学び、よく鍛え、よく考える 心豊かな児童の育成』



スクールキャラクターまだけさん

3 めざす児童像

- *

や

 やさしく助け合い 感謝する子
- *

す

 すすんで学び よく考える子
- *

は

 判断正しく 実践する子
- *

ら

 ラストまで頑張る 元気な子



4 めざす学校像

- * 明るく楽しく みんなで協力し合う学校
- * 元気と活気に満ち 安定感のある学校
- * さわやかな空気に包まれ 整備された学校



5 めざす教師像

- * 使命感と 情熱にあふれ 伸びゆく教師
- * 確かな力量を持ち 謙虚でさわやかな教師
- * 明るく元気で 人間的魅力に満ちた教師

平成26年4月1日 校長 越智久功